

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症拡大により、医療提供体制も含め社会・経済活動に甚大な影響を及ぼす事態となっており、早くも3年の年月が過ぎた。全世界の感染者は7億6,096万人（令和5年3月19日時点）、日本の感染者は3,345万人（令和5年3月31日時点）を超えたところであるが、世界的に社会・経済活動を回復させる動きも加速し、人との接触を避ける動きも平時に戻しウィズコロナを具現化する社会活動が加速している。日本においても、令和5年5月より新型インフルエンザ等感染症（2類感染症相当）に分類されている新型コロナウイルス感染症を5類感染症に引き下げるようになった。しかし、突然変異を繰り返す新型コロナウイルスは、引き続き予断を許さない状況にあり、即効性のある治療薬の一刻も早い開発が望まれているところである。

そのような状況の中で令和4年度の当会は役員改選を迎え、6期目を迎えた宮島会長をはじめ56名の理事による理事会運営により都道府県技師会との連携強化、他の医療団体との連携を図りつつ、当初計画した多くの事業が執行されたところである。平成29年6月に医療法等の一部を改正する法律で検体検査の精度管理が創設されたことを受け、当会が実施する精度管理調査を医療法等改正内容に合致させるために、抜本的な見直しを実施し、併せて、従来の「施設認証制度」を再構築した「品質保証施設認証新制度」はパイロット事業等を実施した後に、今年度初めての認証を行った。また、厚生労働省が進めた「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会」並びに「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の検討結果を踏まえ、臨床検査技師等に関する法令等の改正がなされ、それぞれに対応するために事業を展開した。特に厚生労働大臣指定講習会に関しては度重なる新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各都道府県で開催中止や延期が頻発する中、47都道府県技師会のご尽力により、全ての都道府県で開催された。臨地実習指導者講習会に関しては全国の臨地実習受入施設における臨地実習指導者の育成がほぼ目標に達したことを踏まえて、1施設あたりの受講者数を1名に限定する縛りの解除を行ったところである。

令和4年度の最重点課題と位置付けた近未来構想を踏まえた「次世代人材育成プロジェクト」は、若手の技師から構成された「未来構想WG」の意見を中心にこれからの日臨技のあり方などを時代の要請等に則した内容等へ見直し、策定することとしている。

具体的には令和4年度の重点事業について以下のように着実に進めた。

- ① 「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会」の報告を受け、法令改正により臨床検査技師に新たに追加された10行為について「タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催並びに現行制度下で実施可能な業務を含め医療機関での着実な定着に向けて取り組んだ。

- ② 「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の報告を受け、臨床検査技師学校養成所指定規則等が改正され、教育内容、臨地実習指導内容、臨地実習指導者の配置施設での臨地実習が義務化されたことから、「臨地実習指導者講習会」を継続的に開催した。
- ③ 精度保証事業としては旧来の「日臨技精度保証施設認証制度」を改め、新制度の「品質保証施設認証制度」をスタートした。
- ④ 学術・技術振興の一環として、支部学術部長、各部門長との連携を図り支部学術組織の再編成に向けての検討を行った。
- ⑤ 日臨技倫理綱領を改めるべく倫理綱領改定 WG を開催し、組織としての日臨技および個人としての臨床検査技師とに区別した綱領について検討を行った。
- ⑥ コロナ禍における非接触の日常を改め、理事会等の重要な会議等に関してはできるだけ平時に戻し開催した。

1. 公益目的事業 — 臨床検査精度保証事業／臨床検査精度管理調査事業 —

安全で適切な医療提供の確保を推進するための施策の推進を図る目的で、検体検査の精度の確保等の措置を講ずるために、医療法等の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 57 号）が公布された。これにより検体検査業務を自ら実施する医療機関における検体検査の精度管理の基準が明確化された。当会としては、改正法に基づき精度保証事業及び精度管理事業を大幅に変更した。従来 of 精度管理調査項目に加えて、国際的重大問題でもあった新型コロナウイルス感染症に対する遺伝子増幅検査および抗原定性検査の精度管理調査を本格導入した。また、この度の改正法においても、その精度管理が問題となった POCT（臨床現場即時検査）も精度管理調査項目として採用にこぎつけた。今現在はワーキンググループにて、体細胞遺伝子検査、血中薬物検査及び循環器病関連検査項目の精度管理調査についても本格導入できないかについて検討を始めた。

また、精度保証事業については、「日臨技精度保証施設認証制度」を「日臨技品質保証施設認証制度」に再構築し、令和 4 年 6 月より認証を始めた。新制度では、認証部門を最大 10 部門に広げたほか、臨床検査の継続的な是正改善に積極的に取り組む施設に対して認証施設として 240 施設を認めた。令和 5 年 1 月には 2022 年度審査の募集を開始した。

1) 臨床検査精度保証事業

① 品質保証施設認証制度の審査（新制度啓発）

令和 4・5 年度品質保証施設認証について、公益社団法人 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)と連携して、認証審査を実施した結果、240 施設を認証した。精度保証施設認証施設(旧制度) 460 施設、品質保証施設認証(新制度)は 240 施設となった。

② 精度管理サポート事業（是正・改善・立入調査）の検討

サポート事業は「精度管理サポート事業（是正・改善・立入調査）の検討WG」に紐づく「精度管理責任者育成WG」及び「内部精度管理相談窓口WG」の事業運用に向けた役割について検討した。都道府県技師会精度管理調査担当者との情報交換を行い、サポート事業は都道府県技師会との連携が重要であるという認識で一致し、今後検討に入ることを確認した。

③ 検査値標準化の検討

検査値標準化事業については、基幹施設を中心としたパッチワーク方式に基づいた臨床検査値標準化事業は、一定以上の効果が得られたとして一旦終了し、今後の動向を見ながら、それぞれの検査項目について個別に対応することとした。中でも免疫血清調査項目として甲状腺マーカーであるTSH、FT4の2項目を精度管理調査項目として新規に導入し、ハーモナイゼーション効果を確認した。さらに、2021年4月より、臨床化学検査部門におけるLDとALPの2項目について、国内で採用されている現行法の「JSCC法」から、世界的に普及している「IFCC法」に切り替わったことから、当会においても精度管理調査において、その動向をつぶさに検証し、スムーズな移行に向けて関連団体と情報共有した。

2) 日臨技臨床検査精度管理調査事業

① 臨床検査精度管理事業の実施

- 本年度は、4,454施設・4,518件の参加があり、昨年度より95施設増加した。3月に申込を開始し、6月に調査試料を配布した。施設別報告書及び総括統計表を、8月末にJAMTQCのサイトで公開した。総合報告書を12月上旬にJAMTQCのサイトで公開、令和5年1月中旬には、総合報告書を参加各施設宛に郵送した。
- 本年度より精度管理調査に新規導入したPOCT（感染症項目）に817施設の参加があった。4月に申込を開始し、9月に調査試料を配布した。施設別報告書及び総括統計表を、10月末にJAMTQCのサイトで公開した。総合報告書を12月上旬にJAMTQCのサイトで公開、令和5年1月中旬には、総合報告書を参加各施設宛に郵送した。
- 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会を令和4年11月26日（土）に「幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）」で開催し、全国より626人の参加があった。当日は、コロナ禍での開催となり、収容人数を例年の約半数に制限したが、参加者数は昨年よりも増加した。各分野からの報告及び活発な質疑応答が行われた。また、当日の報告会の様子をビデオに収録し、eラーニング上で展開するとともに、新しい品質保証施設認証制度における是正改善に用いるコンテンツとして情報共有した。

② 精度管理調査に関わる倫理審査

精度管理調査に関わる試料及び画像データ等、個人情報に関わるものの取扱いについて、当会の基本的な考え方にに基づき、令和4年度精度管理フォトサーベイ部門で使用する画像データについて審査を実施した結果、倫理上問題がないことを確認した。

③ 精度管理調査用システム改修

精度管理システム(JAMTQC)を検証し、各部門委員よりシステム要望を受け入れ、システム会社に改修の要望を依頼した。また、新しく始まった品質保証施設認証制度における会員向け、審査員向けシステムのマニュアルを作成し、説明会を開催した。

④ 精度管理調査用の試料一部の内部作製

日臨技精度管理調査並びに都道府県技師会精度管理調査に用いる臨床化学用試料の作製を行った。また、使用希望のあった20道府県に「都道府県技師会用精度管理調査臨床化学試料」を提供した。

⑤ 結果・方針・改善方針の検討審議会

今年度は生理検査部門において、目標とする正解率に届かず、設問内容の妥当性について、専門性のある外部委員を招集し、各設問について検討した。

⑥ 精度管理調査項目検討

○精度管理調査項目検討部会では、当会の精度管理調査項目に導入するための根拠を検討する目的で立ち上げたWG(POCT精度管理調査検討、バーチャルスライドを用いた精度管理調査検討、体細胞遺伝子検査の精度管理調査に向けた検討、FFPE材料を前提とした固定の標準化検討、血球形態標準化、免疫血清甲状腺項目検討、SARS-CoV-2遺伝子検査精度管理検討)のそれぞれの活動及び進捗状況を把握し、各WGに具体的な作業指示を行った。

○精度管理調査に新規導入項目として検討していたPOCT(感染症)及び、SARS-CoV-2遺伝子検査項目については、本年度に導入することができた。

○バーチャルスライドを用いた精度管理調査検討WGでは、本年度精度管理調査において、トライアル調査を実施した(病理・一般・微生物部門)。参加施設からの意見も踏まえ実用化に向けて検討を進め、来期に病理のみ本格実施することとした。

○血球形態標準化WGと一般社団法人日本検査血液学会標準化部会の合同で策定した骨髓幼若細胞分類基準に基づき、支部研修会や都道府県技師会研修会にて啓発活動を行った。

⑦ 品質・精度保証委員会

精度管理調査に用いる試料の品質を担保し、安定供給を確保した上で、精度管理調査自体の精確性を保つための体制、倫理審査を含めた評価基準等の整備、精度管

理責任者の質の確保、都道府県技師会と連携した是正改善方法などの構築等に取り組
み、当該精度管理調査事業の信頼の向上に努めた。

2. 学術・職能支援事業 ー学術・技術振興／認定ー

1) 学術・技術振興

臨床検査技師が医療技術の高度化に対応し、患者ニーズが多様化する医療現場や社会
で活躍し続けるために、職能団体としての教育研修のあり方、学術組織の再編成や医学
検査学会のあり方、出版事業について検討した。教育研修では、医療現場等で必要とさ
れる臨床検査技師を目指した人材育成を行った。学会運営について、大阪で開催され
た第71回日本医学検査学会は、コロナ禍での開催のためハイブリッド形式での開催とな
ったが5,500名を超える多数の方々の参加で成功裏に終わった。

(1) 教育研修（学術）

生涯教育研修制度の再構築を継続事業とした。また、社会人スキルアップを目指した
自己学修支援システム（eラーニング）の活用の推進を継続した。

① 新生涯教育あり方検討事業（新生涯教育制度支援・eラーニング）

日臨技 eラーニング「バリューレゾリューション」では、例年同様に2022年度
精度管理調査総合報告会を分野ごとに閲覧できるように10コンテンツをアップロ
ードした。2月末現在のeラーニング入会者数は、会員3,396名（個人契約；3,310
名、団体契約；86名）、非会員21名となった。

② 生涯教育研修制度（都道府県技師会助成事業）

都道府県技師会への助成事業として、631件の研修会等が開催された。

③ 輸血テクニカルセミナー

令和5年3月18日（土）、19日（日）の両日、東邦大学医学部大森キャンパスにて
輸血テクニカルセミナー2022を日本輸血・細胞治療学会と共催した。講義+実技は
募集定員50名に対し200名以上の、また講義のみの受講は募集定員200名に対し380
名の応募があり厳正な抽選をおこない受講者を決定し開催した。

(2) 教育研修（職能）

医師・医療従事者の働き方改革（医師の時間外労働縮減）が進められる中、厚生労働
省医政局長より発出された「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/
シェアの推進について（令和3年9月30日付、医政発0930第16号）」を受け、現行制
度下で実施可能とされた業務について、会員に広く周知するとともに、医療現場で患者
に寄り添い専門性を生かし活躍できる人材の育成に取り組んだ。

また、臨床検査技師等に関する法律施行令、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部

を改正する省令の交付(令和3年3月31日文科科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長)並びに臨床検査技師養成所指導ガイドライン(令和3年10月20日、厚生労働省医政局長通知)が発出されたことを受け、臨床検査技師養成所教育カリキュラムの見直しに合わせて、臨地実習指導者講習会を支部単位で開催し、令和5年3月現在、1,057名が受講を終了した。臨地実習ガイドライン2021改訂版の作成、臨地実習受入れ施設の拡充に向けた取り組みなどを進めた。

① 医療安全管理推進事業

臨床検査関連の医療事故の具体的な解析事例を「日臨技医療安全ニュース」(NO.11～NO.14)としてJAMTマガジンに掲載し、当会会員へ医療安全に対する啓発活動を行った。

医療の安全管理業務を推進するために必要な知識や技能を習得し、医療安全管理者の養成を目的に、厚生労働省が示す、カリキュラム、履修時間に基づく「医療安全管理者養成講習会」を開催した。

○基本コース

10月1日(土)～11月30日(水) Web(オンデマンド配信) 83名

10月14日(金)・10月15日(土) 現地 82名

○アドバンスコース

12月1日(水)～27日(火) Web(オンデマンド配信) 8名

12月16日(金) 現地 8名

令和5年1月21日(土)・22日(日) Web(ライブ配信) 7名

② 職能拡大推進事業

以下の通り講習会を開催した。

○臨床検査技師のための臨床研究とCRCに関する研修(ライブ配信)

令和5年2月26日(日) 13名

③ チーム医療推進事業(病棟・在宅・認知症含む)

○病棟業務推進事業

医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進にあたり以下のとおり講習会を開催した。

令和4年度病棟業務とタスク・シフト/シェア推進講習会 オンデマンド編

令和5年1月19日(木)～2月18日(土)であったが、期間を令和5年12月31日まで延長した。令和5年3月末現在の受講者は389名となった。

令和4年度病棟業務とタスク・シフト/シェア推進講習会 オンライン編

令和5年2月19日(日) 17名

○病棟業務推進WGの開催状況

第1回 令和4年9月13日(火)

内容：昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針について

- 第2回 令和5年1月26日(木)
 内容：令和4年度病棟業務とタスク・シフト/シェア推進講習会 オンライン
 編ファシリテーター選定
- 在宅業務推進WGの開催状況
 第1回 令和4年8月26日(金)
 内容：昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針について
- 認知症WGの開催状況
 第1回 令和4年8月22日(月)
 内容：昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針について
 第2回 令和5年3月23日(木)
 内容：養成校へのアンケートの取りまとめについて
- ④ 災害対策強化事業
 以下の通り講習会を開催した。
- 都道府県災害マニュアル説明研修会
 令和5年2月16日(月) Web(ライブ配信) 89名
- ⑤ 臨地実習推進事業(臨地実習指導者講習会)
- 臨地実習指導者ガイドライン作成WG
 厚生労働省の「臨床検査技師養成所教育カリキュラム」の改定に伴い、「臨地実習ガイドライン2021」第二版を作成した。
- 臨地実習指導者ガイドライン作成WGの開催状況
 第1回 令和4年11月8日(火)
 内容：ガイドライン改訂に伴うテキスト執筆者について
- 臨地実習指導者講習会WGの開催状況
 第1回 令和4年4月26日(火)
 内容：昨年度臨地実習指導者講習会振り返りと今年度の活動計画について
 第2回 令和4年10月25日(火)
 内容：令和4年度 臨地実習指導者講習会開催状況について
 第3回 令和5年3月22日(水)
 内容：今年度の振り返りと来年度の活動計画について
- 臨地実習指導者育成協議会の開催状況
 第1回 令和4年4月19日(火)
 内容：令和4年度 臨地実習指導者育成状況、今年度開催計画について
 第2回 令和5年1月18日(水)
 内容：受講申込の1施設1名の制限解除について

令和4年度 臨地実習指導者講習会開催状況

開催日	担当	募集人数 (名)	修了者数 (名)	修了者数累計 (名)
令和3年度	—	—	498	498
2022/5/08	関甲信支部	60	60	558
2022/6/05	九州支部	60	46	604
2022/6/13	中四国支部	60	56	660
2022/9/04	中部圏支部	60	48	708
2022/9/11	近畿支部	60	49	757
2022/10/30	関甲信支部	60	42	799
2022/11/03	首都圏支部	60	36	835
2022/12/11	関甲信支部	60	36	871
2023/1/15	北日本支部	60	28	899
2023/2/12	近畿支部	60	46	945
2023/2/19	中部圏支部	60	53	998
2023/2/26	中四国支部	60	59	1057

(3) 厚生労働省指定講習会

「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を継続開催した。

また、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律(令和3年法律49号)」による改正法で、臨床検査技師の業務に新たに追加された10行為を行うために受講が必要な厚生労働大臣が指定する研修(タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会)を開催した。本指定講習会はオンデマンドでの基礎講習と47都道府県技師会の協力により実地開催する実技講習であることから、都道府県技師会と緊密な連携体制を構築して進めた。

① 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の開催

平成27年から開催している本講習会は令和4年度、東京で2回開催し、参加者数は345名であった。8年間で61,453名が受講した。

② タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催

オンデマンド配信の基礎講習会に令和5年3月31日現在27,087名が受講申請し、19,723名履修完了した。実技講習会は各都道府県技師会の協力のもとに都道府県単位で開催することとした。

各都道府県技師会で計185回の実技講習会が開催され、12,371名が修了した。

(4) 国際協力

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、台湾技師会学術交流、IFBLS・AAMLS への役員等派遣は主にオンラインで行ったほか、海外短期留学制度支援は見合わせとなったが、IFBLS2022（韓国、水原）への現地参加、また、カンボジア支援における役員、委員の現地派遣を3年ぶりに再開した。

① 大韓臨床病理士協会（KAMT／韓国臨床検査技師会）との日韓協定に基づく交流及び発表支援

第35回IFBLS（世界臨床検査技師会）＆第60回大韓臨床病理士協会総合学術大会（現地参加）

韓国水原市にて令和4年10月5日（水）～9日（日）に現地開催された同大会に役員および発表者を派遣した。

- ・オーラル発表 3名
- ・国際学生フォーラム 2名
- ・ポスター発表者 9名

② 中華民国医事検験師協会（TAMT／台湾臨床検査技師会）との学術交流

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため一度延期した開催となった。（オンライン参加）

○13th Asia-Pacific Forum of Medical Laboratory Sciences

令和4年8月13日（土）・14日（日）

- ・国際シンポジウム 1名
- ・国際学生フォーラム 2名発表

③ IFBLS（世界臨床検査技師会）・AAMLS（アジア臨床検査技師会）への役員派遣

令和4年10月1日（土）Chief Delegates meeting がライブ配信で開催され、担当理事が出席した。

④ ASCP（アメリカ臨床病理学会）との共同による海外短期留学制度への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため現地派遣は中止となった。

IFBLS2022において、ASCPの役員と今後の派遣と協力について会議を行った。

⑤ 開発途上国への技術支援のフォローアップ

2017年度から3ヵ年で国の事業による発展途上国（カンボジア国）への技術支援フォローアップにつき、令和5年1月に役員と委員計4名派遣し、支援の再開について確認した。

(5) 会誌発行

臨床検査技師における標準的な知識や技術を網羅した学術誌として「医学検査」を年4回（1月、4月、7月、10月）発刊した。また、J-Stageへの掲載も継続した。

(6) 学会運営

会員の学術活動、人材育成などの研究成果を発表し、情報共有とネットワーク構築の場として、日本医学検査学会を開催した。第72回日本医学検査学会（関甲信支部・群馬県担当）、第73回日本医学検査学会（中部圏支部・石川県担当）、第74回日本医学検査学会（中四国支部・鳥取県担当）の開催準備に着手した。また、ポストコロナ社会での日本医学検査学会等の開催方法や学会運営方法などについて検討を継続した。

① 第71回日本医学検査学会の開催

（学会長：高田 厚照、担当：大阪府）

令和4年5月21日（土）、22日（日）の会期でATCホール、ハイアットリージェンシー 大阪で現地開催したほか、7月10日（日）までWeb（オンデマンド、一部LIVE配信）公開を行うハイブリッド形式とした。

○参加者：5,915名（会員4,939名）現地参加会員1,507名、学生・賛助会員等796名）

○プログラム：一般演題488演題、教育講演7企画、シンポジウム等35企画、日臨技 企画3企画、国際シンポジウム

○企業展示：60社

○オンライン展示：2社

○共催セミナー：23企画

② 第72回日本医学検査学会の開催準備

（学会長：井田 伸一、担当：群馬県）

令和5年5月20日（土）、21日（日）Gメッセ群馬、高崎芸術劇場での開催に向け準備を行った。

③ 第73回日本医学検査学会の開催準備

（学会長：油野 友二、担当：石川県）

令和6年5月11日（土）、12日（日）石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル金沢、ホテル日航金沢、もてなしドーム地下広場での開催に向け準備を行った。

④ 第74回日本医学検査学会の開催準備

（学会長：湯田 範規、担当：鳥取県）

令和7年5月10日（土）、11日（日）大阪国際会議場での開催に向け準備を行った。

(7) 出版

JAMT 技術教本シリーズの発刊及びJAMT 技術教本シリーズについて、初版から5年以上経過したことを踏まえて改訂版について検討した。

① JAMT 技術教本シリーズの発刊・改訂

JAMT 技術教本シリーズの改訂を進め、2023 年 1 月に『輸血・移植検査技術教本第 2 版』を発刊した。

② 日臨技従来出版物の管理

当会が発刊した従来出版物の今期販売数は、「臨床検査精度保証教本」113 冊、「臨床検査技師のための病院感染対策の実践ガイド改訂版」8 冊となった。

(8) 支部運営

支部機能のあり方の検討と都道府県技師会との連携を推進するため、各支部の運営状況を確認した。支部の活性化のための支部長連絡会議、支部幹事会、支部内連絡会議を開催した。

① 支部長連絡会議

構成員である執行理事、支部長にて年 6 回開催した。

② 支部幹事会

北日本支部、関甲信支部、首都圏支部にて年 1 回、中部圏支部、近畿支部、中四国支部、九州支部にて年 2 回開催した。

③ 支部内連絡会議

支部幹事、学術部長、各部門長との合同会議を北日本支部、関甲信支部、中部圏支部、近畿支部、中四国支部、九州支部にて年 1 回開催した。

④ 支部学会

日臨技の事業推進を含め、日臨技の学術活動方針に沿った支部独自の特徴ある内容の学会を開催した。

また、将来の臨床検査を担う人材の発掘のため、支部学会において学生フォーラムを開催した。担当都道府県技師会の状況を踏まえ、会員（既卒者）との意見交換の場の提供や学生主体のシンポジウム、交流会の開催、演題発表等を行い、学生と臨床検査技師の将来について交流した。

○北日本支部 テーマ：原点回帰 ～臨床検査技師だからできること～

（北海道：学会長 早坂光司、函館国際ホテル）

○関甲信・首都圏支部 テーマ：時代の潮流に乗れ 臨床検査の多様性に向けて

（栃木県：学会長 内田雄二、栃木県総合文化センター、Web オンデマンド配信）

○中部圏支部 テーマ：Go to the NEXT ONE！

～ふじのくにに集い 今と未来を考える～

（静岡県：学会長 須田達也、静岡県総合コンベンション施設「プラザウエルデ」、Web オンデマンド配信）

○近畿支部 テーマ：変化 ～未来の検査室への予期・探知・適応～

（兵庫県：学会長 真田浩一、神戸常盤大学、Web ライブ配信）

○中四国支部 テーマ：共創 Co-Creation ～知識 技術 信頼～

(広島県：学会長 米田登志男、広島国際会議場)

○九州支部 テーマ：Going On ～つなぐ・つなげる臨床検査～

(福岡県：学会長 外山洋子、久留米シティプラザ)

⑤ 支部研修会

現地、Web（オンデマンド配信、ライブ配信）にて北日本支部 9 研修会、関甲信支部 7 研修会、首都圏支部 1 研修会、中部圏支部 6 研修会、近畿支部 8 研修会、中四国支部 2 研修会、九州支部 7 研修会を開催した。

2) 認定

令和 3 年度に開発された日臨技 Web 研修会システムを主に利用し、オンデマンド配信による各種研修会を実施して学修の機会を確保し、各認定制度を継続した。また、認定試験については医療技術部門管理資格認定制度および医療管理者認定制度は Zoom を利用した Web 試験として実施し、他の認定制度は全て幕張メッセ国際会議場にて令和 4 年 11 月 27 日(日)に実施した。

そのほか、認定取得者の促進を目的に「自己学修支援システム（eラーニングシステム）」に受験準備のための各認定受験カリキュラム内容のコンテンツ化を進め、会員の自己学修支援の環境を整えた。「日臨技認定センターHP」から登録した会員に対する認定関連研修会内容などのメールマガジンによる情報発信と共に認定受験申請、更新申請の簡素化を目指したシステムの改修を進め、手続きの簡略化を推進した。

医療技術部門管理資格認定制度については、昨年度策定した更新制度の具体的内容として毎月オンライン勉強会を実施した。また、医療管理者資格認定制度を今年度より運用を開始し、第一回認定試験を実施した。

(1) 各種認定技師制度の運用

認定一般検査技師、認定心電検査技師、認定臨床染色体遺伝子検査師、認定病理検査技師、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師、認定認知症領域検査技師、認定救急検査技師の各認定制度に係る研修会、講習会を Web または現地で開催したほか、医療技術部門管理資格認定制度の夏季集合研修と秋季集合研修およびオンライン勉強会を全て Web 開催した。

また、各認定試験を実施し、審議会で 60%以上の認定率を目処に合格者を選定し、認定制度協議会でその結果を承認し、さらに中央認定委員会の承認を経て合格者及び各認定資格更新者を承認した。

新規の認定資格取得者の認定資格有効期間は令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日までの 5 年間とした。

《 認定検査技師試験 》

認定検査技師名	受験者	合格者	合格率
認定一般検査技師制度	142	91	64.1%
認定心電検査技師制度	99	44	44.4%
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 染色体分野	12	5	41.7%
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 遺伝子分野	25	15	60.0%
認定病理検査技師制度	260	209	80.4%
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度	99	87	87.9%
認定認知症領域検査技師制度	42	36	85.7%
認定救急検査技師制度	46	30	65.2%
医療技術部門管理資格認定制度	8	8	100.0%
医療管理者資格認定制度	7	6	85.7%

《 認定資格更新申請 》

認定検査技師名	更新対象者	更新申請承認者	更新延長申請承認者
認定一般検査技師制度	70	62	1
認定心電検査技師制度	163	125	5
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 染色体分野	7	6	—
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 遺伝子分野	8	7	—
認定病理検査技師制度	175	161	6
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度	53	47	1
認定認知症領域検査技師制度	56	45	—
認定救急検査技師制度	370	251	2
医療技術部門管理資格認定制度	—	—	—

(2) 医療技術部門管理資格認定制度を踏まえた医療管理者資格認定のあり方の検討
制度規則の整備を行い、第1回の認定試験を実施し、7名の認定者を輩出した。

(3) 各種認定取得・更新に向けた学修コンテンツ（eラーニング）の継続作成
これまでにアップしたコンテンツにつき、継続的な利用及び内容の充実化を進めた。

3. 政策涉外・組織強化事業 —政策涉外／組織強化—

1) 政策涉外

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、日臨技内に設置した新型コロナウイルス感

染症対策本部は、感染拡大の状況等に応じて開催し、情報収集と会員への情報提供を積極的に行った。

厚生労働省が開催した「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の対応の在り方等に関する検討会」のオブザーバーとして役員が参加した。この検討会の報告書を踏まえ、政府は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」（令和4年法律第96号）を12月9日に公布し、臨床検査技師が法的な位置づけによりワクチン接種を令和6年4月より実施できることとした。

また、医師の働き方改革を推進するためのタスク・シフト/シェアの推進については、都道府県臨床（衛生）検査技師会をはじめ、関連団体と連携しながら実施した。

その他、政策や渉外の関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定を行うとともに、診療報酬等に関する調査を実施するなど会員や国民の目線に立った渉外活動を実施した。

① 新型コロナウイルス感染症に対する日臨技の対応

新型コロナウイルス感染症の蔓延に対応すべく、令和2年2月13日日臨技に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、令和5年3月末までに計49回（今年度は3回）開催し、コロナ禍における日臨技事業運営、事務局体制などの検討を行うとともに、情報収集並びに会員への情報提供を行った。また、令和3年6月に政府方針としての迅速なワクチン接種を積極的に展開するため、「違法性の阻却」として、新型コロナワクチンの接種が臨床検査技師に認められたことを受け、行政機関との共同によるワクチン接種の基礎研修会（Web対応）や都道府県等によるワクチン接種実地研修を進め、行政が認めた大規模接種会場などにおいて接種に対応した。

○日臨技 新型コロナウイルス対策本部会議の開催 第47回～49回

○臨床検査技師による新型コロナウイルスワクチン接種の全国調査（総括）

○新型コロナウイルス感染症のワクチン接種基礎研修（座学）

- ・受講申込：10,703名（令和5年3月末現在）
- ・基礎研修修了者：8,976名（履修率83.86%）

○都道府県によるワクチン接種実技講習開催状況（令和5年2月末現在）

- ・開催都道府県：19府県
- ・総受講者数：1,940名

○臨床検査技師によるワクチン接種の実施状況（令和5年2月末現在）

- ・ワクチン接種の実施県：13県（福島、栃木、群馬、千葉、富山、愛知、京都、滋賀、兵庫、鳥取、徳島、高知、沖縄）
- ・接種総数（延べ接種数）：237,043件
- ・実施臨床検査技師数：2,968名

② 政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定

各都道府県技師会にて4施設を選定していただいた結果、41都道府県、163施設の登録があった。

○4施設の内訳は次のとおり。

- ・大病院（500床以上）
- ・中病院1（200床以上～500床未満）
- ・中病院2（100床以上～200床未満）
- ・小病院（100床未満）

今年度調査した内容は、隔年で実施する診療報酬に関するコスト調査、および蛋白分画の実施状況調査を行った。

③ 政策渉外推進事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新興感染症に対する体制整備の要望として、保健所等行政機関への臨床検査技師配置強化の要望、臨床検査技師の実人員把握のための関係法令の一部改正の要望、医師の働き方改革に資するタスク・シフト/シェア推進のための臨床検査技師病棟配置への診療報酬上の評価の要望、検体検査の品質・精度確保のための要望、臨床検査技師の教育体制の要望、在宅医療の充実のための体制整備の要望を、厚生労働省をはじめ関係各所へ提出・説明した。

④ 診療報酬改定関連調査

令和6年度診療報酬改定に向けて、各都道府県から改定要望を聴取、診療報酬委員会で検討・議論し、日本臨床検査振興協議会診療報酬改定小委員会に報告した。

⑤ 厚生労働科学研究事業への協力

- 「標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診AIなどICTを用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究」（研究分担者）
- 「臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師のタスクシフティング/タスクシェアリングの安全性と有効性評価」（研究分担者）
- 「医療関係職種の実働人数把握のための推計式構築について～医療機関における需給推計～」(研究協力団体)

2) 組織強化

日臨技が果たすべき使命や役割、将来のあるべき姿を踏まえて各種の取り組みを行った。

(1) 組織対策

組織対策として、日臨技（支部を含む）及び都道府県技師会との連携を強化し、会員にとって有益な事業とするため、理事会等を通じた情報共有並びに迅速な情報伝達に努めた。また、定款と諸規程の整合性を図りながら必要に応じて改定を進めた。会員の利便性や法人運営の効率化、正確性の確保を迫及し、システムの改修と活用を高めた。

中長期的視点での人材育成に関するあり方を策定するために「次世代人材育成プロジェクト(5か年計画)」の検討を開始した。また、次世代の優秀な臨床検査技師の輩出に繋げる事業としての地域ニューリーダー育成研修会をハイブリッド形式で開催した。

更に、第4次マスタープランの答申を受け8年が経過していることから、第4次マスタープランの検証を行った。また、第5次マスタープランの検討に着手した。

① 定款諸規程検討

役員の報酬等および費用に関する規程、役員の報酬等および費用に関する規程細則、謝金及び旅費の支給に関する規程、支部運営規程、表彰規程、日臨技叙勲推薦候補者内規、共済制度規程細則、職員就業規則、職員給与規則、「医学検査」発刊規程の改定を行った。また、役員の行動費の支給に関する規程、宿泊料及び交通費の精算に関する運用内規を制定した。

② 中高生向け進路支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中高生向け進路支援ガイダンス並びに臨床検査技師の認知度向上を目的とした「臨床検査技師の仕事」の冊子配布などを中止した。

③ 地域ニューリーダー育成研修会・都道府県リーダー育成研修会への支援

平成26年度より組織活性化及び組織強化事業の一環とし「地域ニューリーダー育成研修会」を開催し、これまで7回開催した。7回目までを第1期と位置づけ、各都道府県技師会より推薦された3名の受講者に複数回参加して頂き人材育成を進めてきた。本年度より第2期として5年計画で各都道府県から推薦をもらった新たな人材の育成を開始し、今年度は、コロナ禍の影響を鑑みて、ZOOMを活用したWeb研修と集合型研修のハイブリット研修会で開催した。

都道府県リーダー育成研修会への支援については、6県臨床検査技師会からの要請を受けて役員を派遣した。

○地域ニューリーダー育成研修会

- ・ZOOMによる事前研修

開催日時：令和5年2月25日（土）13:00～16:00

- ・会場集合型研修

開催日時：令和5年3月4日（土）9:00～21:00

令和5年3月5日（日）8:30～13:00

開催場所：L stay & grow 晴海

参加人数：44名

④ 次世代人材育成プロジェクト(5か年計画)の策定

次世代人材育成に関するあり方を策定するために「次世代人材育成プロジェクト(5か年計画)」の検討に着手した。

⑤ 各種広報ツール制作

「臨床検査技師の仕事」の冊子を作成し、全国「検査と健康展」等で活用し、臨床検査技師の認知度向上に努めた。また、「入会のご案内」を作成し、臨床検査技師養成校の卒業生に配布し入会促進を図った。

⑥ 各種調査データ解析事業

厚生労働科学研究「医療専門職の実態把握に関する研究」の中間報告を踏まえて当会としての基礎資料としての実働人数の現在と将来の需給関係の推計を行った。

⑦ 日臨技啓発冊子の配布

「入会のご案内」のパンフレットを臨床検査技師養成校の卒業生に配布し、会員入会促進を図った。また、「日本臨床衛生検査技師会のご案内」の冊子を製作、新入会員に配布し、新入会員の日臨技への理解を高めた。

⑧ 執行体制の強化

事業形態を学術・事業/政策渉外・総務部門に組み換えを行い、円滑かつ迅速な執行体制に努めた。

⑨ 第5次マスタープラン

マスタープランは、日臨技の将来の基盤となるものであり、第5次マスタープランの策定のためにコロナ禍での組織運営の現状を踏まえて第4次マスタープランの検証を行った。2040年の少子高齢化、医療の需要と供給問題と明るくない社会を見据えた見直しを図るために「コロナ禍での組織運営及び第4次マスタープランの検証WG」にて検討を行い、答申書は令和5年1月13日に宮島会長宛に届けられ、第5次マスタープラン作成の検討に着手した。

○コロナ禍での組織運営及び第4次マスタープランの検証WG

第1回 令和4年11月3日（木）

内容：コロナ禍での組織運営における課題と第4次マスタープランの検証内容の検討

第2回 令和4年12月10日（土）

内容：コロナ禍での組織運営及び第4次マスタープランの検証の答申案について

(2) 組織運営

日臨技（支部を含む）と都道府県技師会との連携を強化し、日臨技事業の更なる推進を図った。各事案に対し、委員会を中心に部会、ワーキンググループ等の会議制を継承し、迅速かつ的確に対応を行った。他団体との対応、会員から提起される問題や改善要求などに対処するとともに、懸案事項や課題について効率的な解決を図った。また、令和4年度に創立70周年及び法人化60周年を迎え、記念事業として、令和5年4月に記念誌

の発刊、同年6月に記念式典の開催に向けて準備した。また、平成3年に制定した倫理綱領について見直しのうえ、令和5年度定時総会の議案となる改定案をまとめた。

① 組織の運営

定款、組織運営規程に基づく会議を開催するとともに、隔月で開催する理事会では、委員会やWG、執行理事会議を経た重要案件などについて審議を行った。

○定時総会 1回

○理事会 7回

○執行理事会議 12回

○支部長連絡会議 6回

○各種委員会、WG、部会

② 倫理規程の強化・会員倫理周知徹底

倫理規程、医学研究倫理審査規程、研究・調査に係る利益相反管理規程、臨床検査の研究・調査における利益相反(COI)に関する指針、個人情報保護規程、および特定個人情報取扱規程に則り、適切に精度管理事業ならびに検査値標準化事業を実施し、審査が必要な案件については、有識者による倫理審査を行った。

③ 表彰事業

令和3年度の各賞の表彰を令和4年度定時総会・第71回日本医学検査学会で執り行った。

○永年職務精励賞 1,156名

○日臨技有功賞 会長賞 受賞者なし

功労賞 受賞者なし

特別賞 受賞者なし

○地域貢献賞 7名

○日臨技学術奨励賞

最優秀論文賞 1名、優秀論文賞 2名

最優秀演題賞 1名、優秀演題賞 7名

特別奨励賞 3名

結核予防会 結核研究奨励賞（日臨技推薦） 1名

○支部学術奨励賞

北日本支部 3名、関甲信・首都圏支部 6名、中部圏支部 3名

近畿支部 2名、中四国支部 3名、九州支部 3名

○日臨技学生表彰

一般社団法人日本臨床検査学教育協議会加盟校の卒業予定の学生を対象とし、各校から1名の推薦により70名を表彰した。

④ 賀詞交換会

新型コロナウイルス感染拡大の影響や創立70周年・法人化60周年の記念式典

の開催も計画していることから、今年度の開催は見送った。

⑤ 総会

定時総会として、令和4年6月25日(土)にステーションコンファレンス川崎「Room A+B+C」にて開催した。議決権を有する正会員数67,157名に対し、総会出席者数合計(事前表決、代理出席表決、出席表決)は38,270名となり、総会成立のための定足数33,579名を上回り総会は成立した。議案(第1号～第5号)はすべて承認された。

⑥ 日臨技70周年記念事業

創立70周年・法人化60周年記念式典につき、開催時期、開催会場は次のとおり決定した。

○日時：令和5年6月24日(土)

○場所：ホテル雅叙園東京

○厚生労働大臣表彰の候補者を全国、地方推薦候補者を選出し、計80名の候補者を厚生労働省医政局医事課長へ1月10日に提出した。

○創立70周年・法人化60周年記念誌については、令和5年4月末日発刊予定で進めた。

⑦ 執行体制強化

会務の円滑な推進のため、理事会の前日までに支部ごとの事前レクを開催して、重要な案件について内容を共有しながら深く議論を行った。

⑧ 広報システム

会員への情報伝達の方法として、適宜ホームページを更新した。会員専用ページのスマートフォン対応について検討を進めた。必要に応じて日臨技一斉メールシステムを利用し、会員への情報提供、案内を行った。

⑨ 日臨技倫理綱領の項目検討

現存の倫理綱領は会員のための倫理綱領であり、会員(臨床検査技師および衛生検査技師)のための倫理綱領と日本臨床衛生検査技師会の倫理綱領とに変更を行う案を作成し、会員から意見を求めた。なお、改定については次の定時総会で承認をいただき、周知する。

○倫理綱領改訂WG

第1回 令和4年10月13日(木)

内容：今後のスケジュールと進め方について

第2回 令和4年12月7日(火)

内容：倫理綱領について(日本臨床衛生検査技師会・臨床検査技師)

(3) 国民医療向上/安全対策

国民医療向上/安全対策事業として、臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を目的に、11月の「臨床検査月間」にあわせて、中央会場を含む36都道府県技師会との共同

で全国「検査と健康展」を開催した。また、臨床検査技師の仕事の認知度向上を目指した国民向けの季刊広報誌「Pipette」を継続発刊した。

① 季刊広報誌「Pipette」の発刊

国民に対して臨床検査並びに臨床検査技師の仕事を広く周知し、社会的認知度を向上させる目的で継続発刊した。令和5年3月現在、全国8,731箇所（医療機関など）に1,114,736部（今期総数は460,807部）を発送した。

② 全国「検査と健康展」の開催

臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を目的に、11月の「臨床検査月間」に合わせて、中央会場を含む36都道府県技師会と共同で全国「検査と健康展」を開催した。

今年の中央会場は、一般社団法人愛媛県臨床検査技師会が担当し、次のとおり開催した。

○中央会場

- ・開催日時：令和4年10月30日（日）10：00～16：00
- ・開催場所：パフィオうわじま、フジグラン北宇和島店
- ・参加人数：355名

○地方会場

35都道府県技師会が実施し、当会において助成をした。また、一般社団法人日本臨床検査専門医会からの医師の派遣にも対応した。

(4) 就労支援

無料職業紹介事業については、当該紹介所の利用者は極少であることから、令和4年5月31日付けを以って廃止した。また、求職、求人情報の提供として都道府県技師会の求人情報を日臨技ホームページへ掲載した。

(5) 事務運営

① 事務局体制の強化

事務局内での決裁申請や支払申請などのWeb化を継続し、効率性を高めた。

② 確実な事業遂行、適正な予算執行

事務局担当者を明確にし、業務運営の安定化と効率化を図った。事業調書ごとに執行状況を四半期単位で管理し、担当理事と事務局担当者で情報共有と連携に努め、確実な事務運営と適正な予算執行に努めた。

(6) 会員管理

当初予算で見込んでいた会員（会費納入者）数の70,000人に対し、69,823人の実績となり、未達成ではあるが、正会員受取会費は前年度対比1,287万円増となった。

(7) 共済

共済制度の安定的な運営を継続し、会員の相互扶助として、臨床検査技師賠償責任共済制度、会務参加中の普通傷害共済制度、臨床検査技師廃業後賠償責任共済制度、研修会等事前参加費返金制度、感染症罹患共済金制度、被災者会費減免制度を継続した。会員への共済制度の広報について、JAMT マガジン及びホームページを通じて行った。

○支払事例（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

- ⇒臨床検査技師賠償責任共済制度 6件
- ⇒会務参加中の普通傷害共済制度 0件
- ⇒臨床検査技師廃業後賠償責任共済制度 0件
- ⇒感染症罹患共済金制度 844件
- ⇒研修会等事前参加費返金制度 0件
- ⇒被災者会費減免制度 15件

・会費減免申請状況

罹災原因（被災証明書の記載内容）	所属技師会	申請日	承認日	人数
令和4年3月16日に発生した福島沖を震源とする地震	宮城県	20220627	20220924	1名
令和4年福島県沖の福島・宮城地震	福島県	20220630	20220924	1名
令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震	福島県	20220630	20220924	1名
令和4年8月3日の大雨	青森県	20220816	20220924	1名
令和4年8月3日からの大雨	新潟県	20220912	20221123	1名
令和4年台風14号	鹿児島県	20220930	20221123	1名
令和4年台風15号に伴う大雨被害	静岡県	20221014	20221123	1名
令和4年台風15号に伴う大雨被害	静岡県	20221017	20221123	1名
令和4年台風15号に伴う大雨被害	静岡県	20221019	20221123	2名
令和4年8月3日集中豪雨	山形県	20221022	20230121	1名
令和4年台風15号に伴う大雨被害	静岡県	20221028	20230121	1名
令和4年8月3日（水）から4日（木）に発生した豪雨	新潟県	20221107	20230121	1名
令和4年台風第15号による被害	静岡県	20221107	20230121	1名
令和4年台風第15号に伴う大雨被害	静岡県	20221111	20230121	1名

(8) 会館

経年劣化による1階から3階のウォシュレットを含む水まわりの不具合について、調査のうえ取り換え工事を行った。

以上

■参考資料は次頁以降に掲載しています。

《資料1 研修会等開催状況》 《資料2 支部運営》

《資料3 各種団体・学会 派遣一覧》

《資料4 委員会・部会・WG 設置状況》

《資料5 組織調査》 《資料6 会員数推移》

■ 参考資料 ■ 《資料 1 研修会等開催状況》

日臨技研修会等開催状況

日臨技認定センター

認定試験受験指定講習会・資格更新・育成研修会

行事名	開催日	開催場所
令和4年度 認定一般検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年6月1日(水)～6月30日(木)	Web (オンデマンド配信)
認定一般検査技師制度育成研修会 (尿検査編)	令和4年8月1日(月)～8月31日(水)	Web (オンデマンド配信)
認定一般検査技師制度育成研修会 (その他の材料編)	令和4年9月1日(木)～9月30日(金)	Web (オンデマンド配信)
認定一般検査技師制度資格更新研修会	令和4年10月1日(土)～10月31日(月)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定心電検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年6月1日(水)～6月30日(木)	Web (オンデマンド配信)
認定心電検査技師育成研修会	令和4年8月1日(月)～8月31日(水)	Web (オンデマンド配信)
認定心電検査技師資格更新研修会	令和4年8月1日(月)～8月31日(水)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年6月1日(水)～6月30日(木)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 第1回指定講習会	令和4年9月1日(木)～9月30日(金)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 第2回指定講習会	日本臨床化学会主催	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定臨床染色体遺伝子検査師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年6月1日(水)～6月30日(木)	Web (オンデマンド配信)
認定臨床染色体遺伝子検査師制度育成研修会	令和4年9月1日(木)～9月24日(土)	Web (オンデマンド配信)

認定臨床染色体遺伝子検査師制度スキルアップ研修会	令和4年10月1日(土)～10月25日(火)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定認知症領域検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年5月20日(金)	ATC ホール B2 D ホール
認定認知症領域検査技師制度 日本認知症予防学会併設 JSDP 技師講座 (1日コース:資格未取得者対象) 20単位	令和4年10月7日(金)～10月27日(木)	Web (オンデマンド配信)
認定認知症領域検査技師制度 日本認知症予防学会併設 JSDP 技師講座 (スキルアップセミナー) 20単位	令和4年9月25日(日)	福岡国際会議場
認定認知症領域検査技師制度 JSDP 技師講座 (2日コース) 40単位 (通算第10回米子研修会)	令和4年7月1日(金)～7月31日(日)	Web (オンデマンド配信)
認定認知症領域検査技師 指定講習会 (2日コース)	令和5年2月1日～28日	Web (オンデマンド配信)
認定認知症領域検査技師制度 指定講習会 (1日コース:資格更新のためのセミナー) (※9月のJSDPがWeb開催なら不要)	令和5年2月1日～28日	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定病理検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年6月1日(水)～6月30日(木)	Web (オンデマンド配信)
認定病理検査技師制度 指定講習会	令和4年8月1日(月)～8月31日(水)	Web (オンデマンド配信)
認定病理検査技師制度 特定講習会 (資格更新研修会)	令和4年9月1日(木)～9月30日(金)	Web (オンデマンド配信)
令和4年度 認定救急検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXI	令和4年5月20日(金)	Web (オンデマンド配信)
認定救急検査技師制度 第1回指定講習会	令和4年8月1日(月)～9月30日(金)	Web (オンデマンド配信)
認定救急検査技師制度 第2回指定講習会	令和4年10月2日(日)	Web (オンデマンド配信)

<p>医療技術部門管理資格制度 夏集合研修 テーマ「医療版ロジカルシンキングをマスターする」</p> <p>医療技術部門管理資格制度 秋集合研修 テーマ「医療機関の内部環境分析と外部環境分析をマスターする」</p> <p>管理認定オンライン勉強会（認定者対象）</p> <p>管理認定集合研修・病院見学会に代わる講習会</p>	<p>第1回：令和4年8月6日～7日</p> <p>第1回：令和4年11月5日～6日</p> <p>令和4年4月 令和4年5月 令和4年6月 令和4年7月 令和4年8月 令和4年10月 令和4年11月 令和4年12月 令和5年1月 令和5年2月 令和5年3月</p> <p>令和4年10月30日(日)</p>	<p>Webライブ配信</p> <p>Webライブ配信</p> <p>管理認定オンライン勉強会は、Webライブ配信後にオンデマンド配信</p> <p>Webライブ配信</p>
認定試験		
<p>令和4年度 認定一般検査技師制度 第16回認定試験</p> <p>令和4年度 認定心電検査技師制度第15回認定試験</p> <p>令和4年度 認定臨床染色体遺伝子検査師制度第15回認定試験（遺伝子分野）</p> <p>令和4年度 認定臨床染色体遺伝子検査師制度第15回認定試験（染色体分野）</p> <p>令和4年度 認定病理検査技師制度第8回認定試験</p> <p>令和4年度 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 第8回認定試験</p> <p>令和4年度 認定認知症領域検査技師制度 第8回認定試験</p> <p>令和4年度 認定救急検査技師制度 第6回認定試験（通算9回）</p> <p>令和4年度 医療技術部門管理資格認定制度第3回認定試験</p> <p>令和4年度 医療管理者資格認定制度第1回認定試験</p>	<p>認定臨床検査技師制度試験は同一日、同一会場で開催</p> <p>令和4年12月24日（土）</p> <p>令和4年12月18日（日）</p> <p>令和4年12月18日（日）</p>	<p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>幕張メッセ国際会議場</p> <p>Web開催（ライブ）</p> <p>Web開催（ライブ）</p>

組織強化

地域ニューリーダー育成研修会（第1回）事前研修会	令和5年2月25日（土）	Web開催
地域ニューリーダー育成研修会（第1回）現地研修会	令和5年3月4日（土）5日（日）	L stay & grow 晴海

教育研修（学術）

行事名	日時	開催場所	修了人数
医療安全管理者養成講習会 （基本コース）	令和4年10月1日（土） ～11月30日（水） 令和4年10月14日（金） ～15日（土）	Web開催 （オンデマンド配信） ステーションコンファレンス川崎	83
医療安全管理者養成講習会 （アドバンスコース）	令和4年12月1日（木） ～12月27日（火） 令和4年12月16日（金） 令和5年1月21日（土）・ 22日（日）	Web開催（オンデマンド配信） 日本臨床検査技師会館 Web（ライブ配信）	8
都道府県災害マニュアル説明研修会	令和5年2月16日（木）	Web開催（ライブ配信）	89
令和4年度CRC講習会	令和5年2月26日（日）	Web開催	13
「病棟業務とタスクシフト/シェア 推進」講習会（オンデマンド編）	令和5年1月19日（木）～ 12月31日（日）	Web開催	389
「病棟業務とタスクシフト/シェア 推進」講習会（オンライン編）	令和5年2月19日（日）	Web（ライブ配信）	17

教育研修（職能）

行事名	募集人数	修了人数
輸血テクニカルセミナー2022 Web開催：3月18日（土） 現地開催：3月18日（土）～3月19日（日） 場 所：東邦大学医学部大森キャンパス	Web 200 実技付 50	Web 490 実技付 49

厚生労働省指定講習会

令和4年検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

開催日	会場	募集人数（名）	修了者数（名）
令和4年3月19日（土）	TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町	300	250
令和4年6月4日（土）	TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町	284	162
令和4年12月24日（土）	日本教育会館	200	183

■ 参考資料 ■ 《資料 2 支部運営》

1) 支部学会の開催

支部	開催日時 / 会場	参加人数	演題数
北 日 本	会 期：令和 4 年 11 月 12 日（土）～13 日（日） 会 場：函館国際ホテル（北海道） テーマ：原点回帰 ～臨床検査技師だからできること～ 開会式：11 月 12 日（土）9 時 20 分～9 時 30 分 日臨技企画：11 月 12 日（土）14 時 30 分～15 時 30 分 会長基調講演：11 月 13 日（日）10 時 40 分から 11 時 40 分 学生フォーラム：11 月 12 日（土）15 時 50 分～17 時 20 分 式典：11 月 12 日（土）18 時～18 時 40 分 閉会式：11 月 13 日（日）12 時～12 時 10 分	667	126
関 甲 信 ・ 首 都 圏	会 期：令和 4 年 10 月 1 日（土）～2 日（日） 会 場：栃木県総合文化センター（栃木県） テーマ：時代の潮流に乗れ 臨床検査の多様性に向けて 開会式：10 月 1 日（土）12 時 20 分～12 時 30 分 日臨技企画：10 月 1 日（土）15 時～15 時 50 分 会長基調講演：10 月 1 日（土）12 時 10 分～12 時 50 分 学生フォーラム：10 月 1 日（土）15 時～16 時 30 分 閉会式：10 月 2 日（日）16 時～	1,021	80
中 部 圏	会 期：令和 4 年 10 月 8 日（土）～9 日（日） 会 場：静岡県総合コンベンション施設「プラザウエルデ」（静岡県） テーマ：Go to the NEXT ONE ! ～ふじのくにに集い 今と未来を考える～ 日臨技企画：10 月 9 日（日）9 時 30 分～ 10 時 30 分 会長基調講演：10 月 8 日（土）9 時 30 分～10 時 30 分 式典：10 月 8 日（土）17 時～17 時 30 分	1,083	116
近 畿	会 期：令和 4 年 12 月 3 日（土）～4 日（日） 会 場：神戸常盤大学（兵庫県） テーマ：変化～未来の検査室への予期・探知・適応～ 開会式：12 月 3 日（土）13 時～13 時 05 分 日臨技企画：12 月 3 日（土）14 時 05 分～15 時 05 分 会長基調講演：12 月 3 日（土）13 時 05 分から 14 時 05 分 学生フォーラム：12 月 3 日（土）15 時 05 分～16 時 35 分 閉会式：12 月 4 日（日）16 時～16 時 05 分	791	62
中 四 国	会 期：令和 4 年 10 月 22 日（土）～23 日（日） 会 場：広島国際会議場（広島県） テーマ：共創 Co-Creation ～知識 技術 信頼～ 開会式：10 月 22 日（土）9 時 10 分～ 日臨技企画：10 月 23 日（日）10 時 20 分～11 時 20 分 会長基調講演：10 月 23 日（日）9 時～10 時 学生フォーラム：10 月 23 日（日）10 時 10 分～11 時 10 分 表彰式：10 月 23 日（日）10 時～10 時 10 分 閉会式：10 月 23 日（日）15 時 50 分～16 時 10 分 閉会式：10 月 23 日（日）15 時 50 分～	1,049	97
九 州	会 期：令和 4 年 11 月 5 日（土）～6 日（日） 会 場：久留米シティプラザ（福岡県） テーマ：Going On ～つなぐ・つなげる臨床検査～ 開会式：11 月 5 日（土）8 時 50 分～ 日臨技企画：11 月 5 日（土）9 時～10 時 会長基調講演：11 月 5 日（土）16 時 40 分から 17 時 40 分 学生フォーラム：11 月 6 日（日）13 時 10 分～14 時 40 分 式典：11 月 5 日（土）18 時～18 時 50 分 閉会式：11 月 6 日（日）15 時 20 分～	1,424	107

2) 支部幹事会の開催

開催日時 / 会場	
北日本	日時：令和5年2月4日（土）9時～12時 場所：シェアオフィス URL 仙台東口
関甲信	日時：令和4年10月1日（土）16時～17時 場所：栃木県総合文化センター
首都圏	日時：令和4年10月1日（土）16時～17時 場所：栃木県総合文化センター
中部圏	日時：令和4年10月7日（金）13時～16時 場所：プラサヴェルデ 2階（222主催者事務室）
	日時：令和5年3月11日（土）14時～16時 場所：Web開催
近畿	日時：令和4年9月23日（金）19時～20時 場所：Web開催
	日時：令和5年3月24日（金）19時～20時 場所：Web開催
中四国	日時：令和4年12月26日（月）18時30分～21時 場所：Web開催
	日時：令和5年2月27日（月）18時30分～21時 場所：Web開催
九州	日時：令和4年11月4日（金）14時～16時 場所：久留米シティプラザ 中会議室
	日時：令和5年2月1日（水）18時～20時 場所：Web開催

3) 支部内連絡会議

開催日時 / 会場	
北日本	日時：令和4年11月11日（金）14時～17時 場所：函館商工会議所 函館経済センター会議室
関甲信	日時：令和4年10月1日（土）17時～18時 場所：栃木県総合文化センター
中部圏	日時：令和4年7月30日（土）13時～14時（学術部門長） 令和4年7月30日（土）14時～16時（支部幹事）
	場所：Web開催
近畿	日時：令和4年12月3日（土）17時～18時 場所：神戸常盤大学
中四国	日時：令和4年10月21日（金）15時30分～17時30分 場所：広島国際会議場 地下2階「ダリヤ」
九州	日時：令和4年7月9日（土）15時～16時30分 場所：Web会議

令和4年度 各種団体・学会 派遣一覧

団体・学会	役職名	理事 評議員	R4-5 派遣役員	
日本衛生検査所協会	衛生検査所業公正取引協議会運営委員	1	深澤恵治	
	評議員	◎ 1	深澤恵治	
	医療関連サービス振興会	衛生検査所専門部会・調査指導中央委員会 副委員長	1	深澤恵治
		衛生検査所専門部会委員	1	益田泰蔵
日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)	医療機器保守点検部会委員	1	深澤恵治	
	理事	◎ 2	長沢光章 滝野 寿	
	ISO/TC212 国内検討委員会(団体委員)	1	滝野 寿	
	WG 1:臨床検査室における品質と能力	1	滝野 寿	
	WG 4:微生物検査と分子診断	1	長沢光章	
	WG 5:検査室のバイオリスクマネジメント	1	長沢光章	
	教育・出版委員会	基準範囲共用化委員会	2	荒木秀夫 滝野 寿
		標準採血法検討委員会	1	益田泰蔵
		用語委員会	1	益田泰蔵
	認証評価委員会	認証評価委員会	1	滝野 寿
日本臨床検査振興協議会	役員	副理事長	◎ 5	宮島喜文
		監事 / 理事		深澤恵治 / 長沢光章 丸田秀夫 滝野寿
	診療報酬委員会	診療報酬改定小委員会	2	丸田秀夫 益田泰蔵
		診療報酬制度小委員会	1	深澤恵治
	医療政策委員会	在宅医療における臨床検査小委員会	3	深澤恵治 宮下勉 坂本秀生(追加)
		遺伝子関連検査に関する小委員会	2	滝野 寿 芹澤昭彦
		感染症対策に関する小委員会	2	長沢光章 三澤成毅
	広報委員会		2	深澤恵治 益田泰蔵
大規模災害対策委員会		2	深澤恵治 安部史生	
将来ビジョン委員会		2	宮島喜文 長沢光章	
チーム医療推進協議会	理事	◎ 1	深澤恵治	
	代議員 補欠代議員	1	代議員: 益田泰蔵、補欠: 勝山政彦	
一般社団法人 日本臨床検査医学会	HbA1c適正運用機構	1	滝野 寿	
公益社団法人 日本臨床検査同学院	POCT測定認定士審議会	1	深澤恵治	
医療機器センター	評議員	◎ 1	丸田秀夫	
公益財団法人 結核予防会	結核研究奨励賞選考委員会委員	1	深澤恵治	
日本糖尿病学会	糖尿病に関する検査の標準化に関する委員会	1	滝野寿	
CRC あり方会議支援委員会	支援委員	1	深澤恵治	
	22回学会プログラム委員 / 23回学会プログラム委員	1	池田律子 / 佐藤康敬	
日本認知症予防学会	理事	◎ 1	深澤恵治	
日本医療検査科学会	POC技術委員会	2	勝山政彦 滝野寿	
日本適合性認定協会	臨床検査室 技術アドバイザー	1	滝野 寿 深澤恵治	
日本栄養療法推進協議会	理事	◎ 1	長沢光章	
	評議員	◎ 2	益田泰蔵 深澤恵治	
	認定委員会委員	1	深澤恵治	
	認定基準策定委員会委員	1	長沢光章	
一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会	輸血検査に係る臨床検査技師への「共同事業協議会」	2	長沢光章 白波瀬浩幸	
特定非営利活動法人 日本病理精度保証機構	副理事長	◎ 1	白波瀬浩幸	
	理事	◎	古屋周一郎	
	代表		芹澤昭彦	
	企画・運営委員会		芹澤昭彦	
	評価判定小委員会		芹澤昭彦 阿部 仁 青木裕志 濱川真治 山下和也	
一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会	監事	1	上原昭浩 (令和5年まで)	
公益社団法人 日本腫瘍学会	がんゲノム医療従事者事業がんゲノム医療コーディネーター養成委員会		滝野 寿	
中央医療事故調査等支援団体等連絡協議会			根本誠一	
公益財団法人 黒住医学研究振興財団	評議員	◎ 1	長沢光章	
一般社団法人 日本医療安全調査機構	社員代表者	1	宮島喜文	
	「センター調査」個別調査部会 統括責任者		深澤恵治	
認定検査技師機構	副理事長	1	宮島喜文	
	事務局長	1	長沢光章	
	認定輸血検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	長沢光章
		委員	2	白波瀬浩幸 南部 重一
	認定臨床微生物検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	宮島喜文
		委員	2	白波瀬浩幸 櫻山誠也
	日本サイトメトリー技術者認定協議会 同 審議会	委員	1	丸田秀夫
委員		2	早坂光司 植木哲也	
認定血液・認定骨髄検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	手登根稔	
	委員	1	植木哲也	
海外	Asia Association of Medical Laboratory Scientists (AAMLS)	理事	◎ 1 宮島喜文	
	International Federation of Biomedical Laboratory Science (IFBLS)	理事	1 片山博徳 (2022/9月まで)	
	公益財団法人国際医療技術財団(JIMTEF)	理事	1 長沢光章	
	同 JIMTEF災害医療委員会	委員	1 深澤恵治	

■参考資料■ 《資料4 委員会・部会・WG設置状況》
委員会・部会・WG設置状況

事業区分	委員会・部会・WG	
公益目的事業	精度保証 (標準化)	品質・精度保証委員会
		精度保証に関わる倫理審査
		結果・方針・改善方針の検討審議会
		精度保証・標準化部会
		品質保証施設認証制度WG
		サポート(是正・改善・立入調査)検討WG
		精度管理責任者育成講習会WG
		内部精度管理相談窓口WG
		血球形態標準化WG
		病理FFPE材料を前提とした固定液標準化検討WG
		精度管理
	精度管理調査 臨床化学WG	
	精度管理調査 免疫血清WG	
	精度管理調査 微生物WG	
	精度管理調査 血液WG	
	精度管理調査 細胞WG	
	精度管理調査 一般WG	
	精度管理調査 生理WG	
	精度管理調査 輸血WG	
	精度管理調査 病理WG	
	精度管理調査 遺伝子WG	
	精度管理調査項目検討部会	
	新JAMTQCシステムWG	
	精度管理調査臨床化学用試料作製WG	
	日臨技精度管理調査評価基準検討WG	
	リファレンスラボ管理WG	
	POCT精度管理調査検討WG	
	バーチャルスライドを用いた精度管理調査WG	
	体細胞遺伝子検査の精度管理調査に向けた検討WG	
SARS-Cov-2遺伝子PCR検査WG		
薬剤感受性検査標準化検討WG		
血中薬物精度管理調査検討WG		
循環器病検査項目精度管理検討WG		
実施事業共通	—	
学術・職能支援事業	学術・技術振興	学術委員会
	学会	学会組織委員会
		72回運営部会
		73回運営部会
	支部	支部学会WG
		※支部長連絡会議
		※支部内連絡会議
		※支部幹事会
	※支部学術部長会議	
	厚生労働省指定講習会	厚生労働省指定講習会WG
	教育研修 (学術)	eラーニング推進WG
生涯教育推進事業検討WG		

事業区分	委員会・部会・WG	
教育研修 (職能)	医療安全委員会	
	教育研修委員会	
	他団体職能拡大推進事業WG	
	認知症WG	
	病棟業務推進WG	
	在宅業務推進WG	
	災害対策WG	
	タスクシフトにかかわる病理検査業務検討WG	
	臨地実習指導者講習会WG	
	臨地実習指導者ガイドライン作成WG	
	国際協力	国際活動WG
学術・職能支援事業	認定	日臨技中央認定委員会
		日臨技認定協議会
		認定一般検査技師制度 審議会
		試験・資格更新・研修会WG
		認定臨床染色体遺伝子検査師制度 審議会
		資格更新・研修会WG
		試験WG
		認定心電検査技師制度 審議会
		資格更新・研修会WG
		試験WG
		医療技術部門管理資格認定制度 審議会
		資格更新・研修会WG
		試験WG
		医療管理者資格認定制度 審議会
		資格更新・研修会WG
		試験WG
		認定病理検査技師制度 審議会
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	標準化WG	
	認定一般検査技師制度 審議会	
	試験・資格更新・研修会WG	
	認定臨床染色体遺伝子検査師制度 審議会	
資格更新・研修会WG		
試験WG		
認定心電検査技師制度 審議会		
資格更新・研修会WG		
試験WG		
医療技術部門管理資格認定制度 審議会		
資格更新・研修会WG		
試験WG		
医療管理者資格認定制度 審議会		
資格更新・研修会WG		
試験WG		

事業区分	委員会・部会・WG	
学術・職能支援事業	認定病理検査技師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	標準化WG	
	認定一般検査技師制度 審議会	
	試験・資格更新・研修会WG	
	認定臨床染色体遺伝子検査師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	認定心電検査技師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	医療技術部門管理資格認定制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	医療管理者資格認定制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	認定病理検査技師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	標準化WG	
	認定認知症領域検査技師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 審議会	
	試験・資格更新・研修会WG	
	認定救急検査技師制度 審議会	
	資格更新・研修会WG	
	試験WG	
	広報WG	
	会誌発行	出版委員会

事業区分	委員会・部会・WG
渉外	診療報酬委員会
	政策推進WG
組織対策	定款・諸規程等改定委員会
	組織運営委員会
	執行体制強化WG
	データ解析WG
	未来構想WG
	第4次マスタープラン検証WG
	コロナ禍での組織運営及び第4次マスタープランの検証WG
	第5次マスタープランWG
	次世代人材育成検討WG
	次世代人材育成プロジェクトWG
組織運営	広報委員会
	検査と健康展事業WG
	季刊誌「ピバット」編集WG
	会報JAMT、JAMTマガジン編成WG
	日臨技創立70周年記念事業WG
	システム委員会
	日臨技既存システム運用WG
	JAMTアプリ検討WG
	予算委員会
	予算実績管理WG
	表彰委員会
	日臨技有功賞推薦WG
	日臨技学術奨励賞推薦WG
	報酬等審議委員会
	役員候補者選出委員会
	倫理委員会
	利益相反委員会
	資格審査委員会
倫理綱領改訂WG	
人事委員会	
事務管理	事務局体制WG
共済	共済制度委員会

■参考資料■ 《資料5 組織調査》

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 組織調査 (令和5年3月31日時点)

(1) 会員種別免許別 性別・会員数

会員分類	免許別	男性	女性	入金会員数
正会員	臨床のみ	20,267	48,539	68,806
正会員	衛生のみ	104	55	159
正会員	両方取得	388	473	861
正会員(免許申請中)	両方未取得	0	1	1
名誉会員	両方取得	4	0	4
合計		20,763	49,068	69,831

(2) 生年月日別 性別・会員数

生年月日	男性	女性	入金会員数
大正元.07.30～大正15.12.24	2	0	2
昭和元.12.25～昭和4.12.31	2	0	2
昭和5.01.01～昭和9.12.31	11	1	12
昭和10.01.01～昭和14.12.31	8	4	12
昭和15.01.01～昭和19.12.31	37	11	48
昭和20.01.01～昭和24.12.31	147	67	214
昭和25.01.01～昭和29.12.31	341	294	635
昭和30.01.01～昭和34.12.31	1,339	1,370	2,709
昭和35.01.01～昭和39.12.31	2,379	3,462	5,841
昭和40.01.01～昭和44.12.31	2,240	4,606	6,846
昭和45.01.01～昭和49.12.31	1,860	5,574	7,434
昭和50.01.01～昭和54.12.31	1,632	5,662	7,294
昭和55.01.01～昭和59.12.31	1,958	5,880	7,838
昭和60.01.01～平成元.12.31	2,716	5,713	8,429
平成2.01.01～平成6.12.31	3,081	7,528	10,609
平成7.01.01～平成11.12.31	2,819	8,319	11,138
平成12.01.01～平成16.12.31	191	577	768
合計	20,763	49,068	69,831

(3) 入会年度別 性別・会員数

入会日	男性	女性	入金会員数
昭和27～昭和29年度	6	0	6
昭和30～昭和34年度	6	1	7
昭和35～昭和39年度	12	2	14
昭和40～昭和44年度	41	17	58
昭和45～昭和49年度	140	57	197
昭和50～昭和54年度	305	242	547
昭和55～昭和59年度	1,189	899	2,088
昭和60～平成元年度	1,649	1,959	3,608
平成2～平成6年度	1,792	2,974	4,766
平成7～平成11年度	1,335	3,069	4,404
平成12～平成16年度	1,418	3,922	5,340
平成17～平成21年度	2,105	6,183	8,288
平成22～平成26年度	3,545	8,842	12,387
平成27～令和元年度	4,669	13,606	18,275
令和2～令和6年度	2,551	7,295	9,846
合計	20,763	49,068	69,831

(4) 病床数別 施設数・会員数

病床数範囲	施設数	入金会員数
なし	1,786	7,674
1～19	219	413
20～99	1,086	2,873
100～199	1,557	7,266
200～299	736	5,738
300～499	855	14,269
500～699	273	9,077
700～999	94	4,802
1000以上	41	2,831
未記入	1,115	2,958
不明	0	0
自宅	0	11,930
合計	7,762	69,831

(5) 施設形態別 施設数・会員数

施設形態	施設数	入金会員数
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	150	6,926
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	600	14,623
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	3,825	25,219
精神科病院	366	676
療養所(一般)	61	223
療養所(結核)	12	72
診療所(有床)	193	380
診療所(無床)	970	1,839
検診センター	142	1,084
健診センター	152	816
歯科(病院)	6	14
歯科診療所	1	1
研究所	81	255
保健所	103	180
血液センター	44	185
学校	158	896
衛生検査所	596	3,910
製薬会社	33	46
医療機器会社	46	91
その他	213	454
未記入	10	11
不明	0	0
自宅	0	11,930
合計	7,762	69,831

(6) 経営主体別 施設数・会員数

経営主体	施設数	入金会員数
文部科学省Ⅰ(大学)	84	2,464
文部科学省Ⅱ(その他)	41	640
厚生労働省Ⅰ(大学)	2	15
厚生労働省Ⅱ(その他)	160	2,140
労働者健康安全機構	32	657
その他の省庁	49	325
都道府県	335	3,747
市町村	645	6,724
日赤(赤十字)	137	2,462
済生会	79	1,436
北海道社会事業協会	5	37
厚生連	113	2,095
国民健康保険団体連合会	3	14
JCHO	15	217
健康保険組合及びその連合会	22	337
共済組合及びその連合会	37	598
国民健康保険組合	5	11
公益法人	494	4,635
医療法人	3,450	14,467
学校法人	209	4,711
民間企業	698	3,933
その他の法人	593	5,271
個人	543	945
旧三公社	0	0
未記入	11	20
不明	0	0
自宅	0	11,930
合計	7,762	69,831

令和4年度と過去5年度の入金会員数推移

所属都道府県技師会		平成29年度 (H30/3/31)	平成30年度 (H31/3/31)	令和元年度 (R2/3/31)	令和2年度 (R3/3/31)	令和3年度 (R4/3/31)	令和4年度 (R5/3/31)
01	北海道	3,118	3,190	3,227	3,235	3,274	3,315
02	青森県	634	618	632	636	636	641
03	岩手県	571	565	581	583	576	566
04	宮城県	1,080	1,096	1,126	1,133	1,141	1,142
05	秋田県	588	590	596	586	580	577
06	山形県	605	611	615	613	629	630
07	福島県	1,109	1,120	1,137	1,142	1,151	1,136
15	新潟県	1,357	1,388	1,387	1,373	1,377	1,390
99	日臨技	109	132	146	119	104	100
[北日本支部]		9,171	9,310	9,447	9,420	9,468	9,497
08	茨城県	1,221	1,256	1,296	1,314	1,340	1,374
09	栃木県	926	941	969	983	1,009	1,040
10	群馬県	1,023	1,036	1,069	1,097	1,110	1,127
11	埼玉県	2,912	3,042	3,183	3,253	3,371	3,501
19	山梨県	472	469	491	498	500	507
20	長野県	1,360	1,383	1,393	1,406	1,425	1,429
99	日臨技	271	385	499	436	400	353
[関甲信支部]		8,185	8,512	8,900	8,987	9,155	9,331
12	千葉県	2,105	2,182	2,242	2,332	2,413	2,481
13	東京都	5,809	6,125	6,451	6,599	6,903	7,177
14	神奈川県	3,364	3,422	3,492	3,566	3,691	3,797
99	日臨技	620	882	1,097	959	856	787
[首都圏支部]		11,898	12,611	13,282	13,456	13,863	14,242
16	富山県	574	576	568	571	581	595
17	石川県	703	713	724	725	723	728
21	岐阜県	846	860	895	900	939	982
22	静岡県	1,673	1,722	1,775	1,833	1,885	1,921
23	愛知県	3,269	3,354	3,460	3,524	3,630	3,728
24	三重県	690	707	704	721	746	766
99	日臨技	203	253	302	270	242	220
[中部圏支部]		7,958	8,185	8,428	8,544	8,746	8,940
18	福井県	392	390	390	390	407	414
25	滋賀県	565	583	599	624	659	667
26	京都府	1,093	1,163	1,202	1,229	1,238	1,314
27	大阪府	3,249	3,473	3,629	3,669	3,853	4,025
28	兵庫県	1,875	1,955	2,091	2,176	2,259	2,325
29	奈良県	613	626	634	656	679	693
30	和歌山県	360	361	378	389	396	415
99	日臨技	492	672	850	749	706	669
[近畿支部]		8,639	9,223	9,773	9,882	10,197	10,522
31	鳥取県	332	333	333	346	361	361
32	島根県	441	446	452	453	452	463
33	岡山県	1,401	1,425	1,443	1,434	1,475	1,485
34	広島県	1,789	1,819	1,862	1,866	1,877	1,905
35	山口県	795	797	809	817	843	854
36	徳島県	442	435	446	434	441	446
37	香川県	685	701	702	720	727	729
38	愛媛県	803	814	822	820	845	840
39	高知県	657	679	670	665	674	678
99	日臨技	129	157	182	140	120	105
[中四国支部]		7,474	7,606	7,721	7,695	7,815	7,866
40	福岡県	3,243	3,355	3,473	3,503	3,538	3,556
41	佐賀県	315	321	329	327	337	337
42	長崎県	869	878	884	898	915	924
43	熊本県	1,221	1,266	1,338	1,356	1,385	1,436
44	大分県	787	800	821	829	848	869
45	宮崎県	478	484	496	506	519	530
46	鹿児島県	619	649	692	708	735	751
47	沖縄県	826	842	853	856	849	874
99	日臨技	176	230	241	195	178	156
[九州支部]		8,534	8,825	9,127	9,178	9,304	9,433
98	その他(支部不明)						
99	日臨技(支部不明)	1	1	1			
[支部不明]		1	1	1	0	0	0
【合計】		61,860	64,273	66,679	67,162	68,548	69,831